

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2019-198798 (P2019-198798A)
 【公開日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-047
 【出願番号】特願 2019-160671 (P2019-160671)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 13 日 (2019.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 取得条件の成立に基づいて第 1 情報を取得可能であり、第 2 取得条件の成立に基づいて第 2 情報を取得可能な取得手段と、

その取得手段により取得された前記第 1 情報と前記第 2 情報とがそれぞれ記憶されることが可能な記憶手段と、

第 1 判別条件の成立に基づいて、前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づいて第 1 判別を実行し、第 2 判別条件の成立に基づいて、前記記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づいて第 2 判別を実行することが可能な判別手段と、

前記第 1 判別における第 1 判別結果を示すための第 1 識別情報が動的表示される第 1 表示手段と、

前記第 2 判別における第 2 判別結果を示すための第 2 識別情報が動的表示される第 2 表示手段と、を有し、

前記第 1 判別結果が特定の第 1 判別結果であることを示すための前記第 1 識別情報または前記第 2 判別結果が特定の第 2 判別結果であることを示すための第 2 識別情報が停止表示された場合に、遊技者に有利となる特典遊技がそれぞれ付与される遊技機において、

前記第 1 識別情報の動的表示期間と前記第 2 識別情報の動的表示期間を決定することが可能な動的表示期間決定手段と、

前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づいて前記第 1 判別が実行されるよりも前に第 1 事前判別を実行することが可能であり、前記記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づいて前記第 2 判別が実行されるよりも前に第 2 事前判別を実行することが可能な事前判別手段と、

前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報と前記第 2 情報との成立順序を識別可能な態様で、記憶されている前記第 1 情報と前記第 2 情報とのそれぞれに対応した図柄が表示される図柄表示手段と、

予め定められた条件が成立したことを契機に、前記事前判別手段による前記第 1 事前判別の結果と前記第 2 事前判別の結果とに基づいて、前記図柄表示手段に表示された図柄を、前記第 1 識別情報と前記第 2 識別情報とが前記動的表示を開始する順序を示す態様で並

んだ状態で可変して表示させることが可能な可変手段と、を有し、

前記可変手段により前記動的表示を開始する順序を示す態様で並んだ状態で前記図柄が可変して表示されることにより前記特定の第 1 判別結果または前記特定の第 2 判別結果となることを示すための期待度を示唆可能に構成されているものであることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 表示手段と前記第 2 表示手段とは、液晶ディスプレイで構成されているものであることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、パチンコ機などの遊技機は、遊技盤面上に設けられた複数の始動口に遊技球が入球すると、遊技の当否が抽選され、その抽選結果を報知する特別図柄の動的表示が表示装置において実行される。このような構成において、それぞれの始動口に対応して、個別に遊技の当否が抽選され、その抽選結果がそれぞれの始動口に対応した特別図柄（例えば、2つの始動口に対して第 1 特別図柄と第 2 特別図柄）が動的表示した後、抽選結果が報知されるものが提案されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ところで、かかる遊技機では、遊技者に混乱を来すという問題点があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、遊技者の混乱を抑制することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために本発明の遊技機は、第 1 取得条件の成立に基づいて第 1 情報を取得可能であり、第 2 取得条件の成立に基づいて第 2 情報を取得可能な取得手段と、その取得手段により取得された前記第 1 情報と前記第 2 情報とがそれぞれ記憶されることが可能な記憶手段と、第 1 判別条件の成立に基づいて、前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づいて第 1 判別を実行し、第 2 判別条件の成立に基づいて、前記記憶手段に記憶

された前記第 2 情報に基づいて第 2 判別を実行することが可能な判別手段と、前記第 1 判別における第 1 判別結果を示すための第 1 識別情報が動的表示される第 1 表示手段と、前記第 2 判別における第 2 判別結果を示すための第 2 識別情報が動的表示される第 2 表示手段と、を有し、前記第 1 判別結果が特定の第 1 判別結果であることを示すための前記第 1 識別情報または前記第 2 判別結果が特定の第 2 判別結果であることを示すための第 2 識別情報が停止表示された場合に、遊技者に有利となる特典遊技がそれぞれ付与され、前記第 1 識別情報の動的表示期間と前記第 2 識別情報の動的表示期間を決定することが可能な動的表示期間決定手段と、前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づいて前記第 1 判別が実行されるよりも前に第 1 事前判別を実行することが可能であり、前記記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づいて前記第 2 判別が実行されるよりも前に第 2 事前判別を実行することが可能な事前判別手段と、前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報と前記第 2 情報との成立順序を識別可能な態様で、記憶されている前記第 1 情報と前記第 2 情報とのそれぞれに対応した図柄が表示される図柄表示手段と、予め定められた条件が成立したことを契機に、前記事前判別手段による前記第 1 事前判別の結果と前記第 2 事前判別の結果とに基づいて、前記図柄表示手段に表示された図柄を、前記第 1 識別情報と前記第 2 識別情報とが前記動的表示を開始する順序を示す態様で並んだ状態で可変して表示させることが可能な可変手段と、を有し、前記可変手段により前記動的表示を開始する順序を示す態様で並んだ状態で前記図柄が可変して表示されることにより前記特定の第 1 判別結果または前記特定の第 2 判別結果となることを示すための期待度を示唆可能に構成されているものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の遊技機によれば、第 1 取得条件の成立に基づいて第 1 情報を取得可能であり、第 2 取得条件の成立に基づいて第 2 情報を取得可能な取得手段と、その取得手段により取得された前記第 1 情報と前記第 2 情報とがそれぞれ記憶されることが可能な記憶手段と、第 1 判別条件の成立に基づいて、前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づいて第 1 判別を実行し、第 2 判別条件の成立に基づいて、前記記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づいて第 2 判別を実行することが可能な判別手段と、前記第 1 判別における第 1 判別結果を示すための第 1 識別情報が動的表示される第 1 表示手段と、前記第 2 判別における第 2 判別結果を示すための第 2 識別情報が動的表示される第 2 表示手段と、を有し、前記第 1 判別結果が特定の第 1 判別結果であることを示すための前記第 1 識別情報または前記第 2 判別結果が特定の第 2 判別結果であることを示すための第 2 識別情報が停止表示された場合に、遊技者に有利となる特典遊技がそれぞれ付与され、前記第 1 識別情報の動的表示期間と前記第 2 識別情報の動的表示期間を決定することが可能な動的表示期間決定手段と、前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づいて前記第 1 判別が実行されるよりも前に第 1 事前判別を実行することが可能であり、前記記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づいて前記第 2 判別が実行されるよりも前に第 2 事前判別を実行することが可能な事前判別手段と、前記記憶手段に記憶された前記第 1 情報と前記第 2 情報との成立順序を識別可能な態様で、記憶されている前記第 1 情報と前記第 2 情報とのそれぞれに対応した図柄が表示される図柄表示手段と、予め定められた条件が成立したことを契機に、前記事前判別手段による前記第 1 事前判別の結果と前記第 2 事前判別の結果とに基づいて、前記図柄表示手段に表示された図柄を、前記第 1 識別情報と前記第 2 識別情報とが前記動的表示を開始する順序を示す態様で並んだ状態で可変して表示させることが可能な可変手段と、を有し、前記可変手段により前記動的表示を開始する順序を示す態様で並んだ状態で前記図柄が可変して表示されることにより前記特定の第 1 判別結果または前記特定の第 2 判別結果となることを示すための期待度を示唆可能に構成されているものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 1 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 1 2 8】

1 0 パチンコ機（遊技機）
8 1 第 3 図柄表示装置（第 1 表示手段、第 2 表示手段、図柄表示手段）
1 1 4 表示制御装置（表示制御手段の一部）
2 0 1 M P U（判別手段）
2 0 3 u 並び替え保留記憶エリア（記憶手段の一部）
2 2 3 k 従並び替え保留記憶エリア（記憶手段の一部）
S 3 1 0 （動的表示期間決定手段）
S 1 4 0 6 （可変手段）